

第1回ワークショップ（2017年6月26日開催） 各班のゾーニング検討

		Aグループ	Bグループ	Cグループ
全体ゾーニング				
アクセス・アプローチ	車	<ul style="list-style-type: none"> 札幌方面からの一般車両は、左折のみの運転で安全に市民会館に進入できる②③ 	<ul style="list-style-type: none"> 一般車両は、交通量が少ない敷地東側（旭大通）から駐車場へ進入できる 入口と出口を敷地の北側、南側に分けて設けることで、混雑の緩和や事故の防止につながる 	<ul style="list-style-type: none"> 一般車両の動線を敷地南側中央付近及び敷地北側の2か所に整備することができる 駐車場の出入口を複数か所に設けることで、イベント時など一般車両の出入りが一時的に増加する際にも対応できる
	人	<ul style="list-style-type: none"> 東小学校と法務局の間にある既存の樹木と現市民会館南側に整備されている歩道を結び、回遊性のある大きな遊歩道をつくることで、市民ホールに用事がなくとも散歩のついでに訪れることができるような歩行者アクセスをつくる③ 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地南側を主要な出入口にすることで、歩行者は南北にのびる既存の遊歩道を通りながら市民ホールに訪れることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の出入口を敷地南側、北側の双方に設けることで、鉄道やバス利用者のアクセスにも配慮する 歩行者は南北に伸びる既存の遊歩道を通りながら市民ホールに訪れることができる
	搬出入	<ul style="list-style-type: none"> 交通量の少ない敷地東側（警察署西側）をバックヤードとすることで、搬出入と一般車両の動線を分けることができる③ 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地南東側（警察署西側）をバックヤードとし、一般車両は現市民会館の南側を通すことで、動線を分ける 	<ul style="list-style-type: none"> 交通量の少ない敷地東側（警察署西側）をバックヤードとすることで、搬出入と一般車両の動線を分けることができる
土地利用	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 敷地東側に配置すると、旭大通からの右折又は、警察署西側の狭い道路からのアクセスとなるため①、敷地西側及び、現市民会館西側を一体的に使うことで、車の出入りがしやすくなる②③ 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地及び現市民会館西側に駐車場を配置することで、一体的に駐車場を整備でき、より多くの駐車台数が確保できる 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地西側に配置することで、北西側のマンションに配慮する 駐車場を集約し配置することで、分散している現在よりも駐車しやすくなる
	オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> オープンスペースを敷地中央部に配置することで、既存の市民会館前オープンスペースと一体的に整備することができる③ 回遊性のある大きな遊歩道とオープンスペースを一体的に整備することができる③ 	<ul style="list-style-type: none"> オープンスペースを敷地南側に配置することで、南北に伸びる既存の遊歩道と連続した整備ができる 建物に囲まれたオープンスペースを配置することで、建物内のロビーなど連続性をもたせる 	<ul style="list-style-type: none"> オープンスペースを敷地南側に配置することで、南北に伸びる既存の遊歩道と連続した整備ができる
	建物位置	<ul style="list-style-type: none"> 敷地東側は税務署や警察署の裏になるため、オープンスペースではなく建物を配置する②→③ 建物のロビーを敷地南東側に配置することで、市役所側からのついで利用や、通り抜けしやすい空間をつくる③ 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地東側にホールなどの高さのあるボリュームを配置することで、敷地北西側のマンションや、西側の住宅地への景観上の影響を抑えることができる 敷地北側道路に対して壁面後退をすることで、日当たりや圧迫感に配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地東側にホールなどの高さのあるボリュームを配置することで、敷地北西側のマンションや、西側の住宅地への景観上の影響を抑えることができる